

地域住宅計画全国シンポジウム 2013 豊田大会
パンフレット(PDF)

地域住宅計画全国シンポジウム2013豊田大会の記録

台風27号が日本列島に接近する中、平成25年10月24日(木)、25日(金)に愛知県豊田市足助町において「地域住宅計画全国シンポジウム2013豊田大会」を開催しました。

以下に大会記録の一部を紹介します。



一日目 10月24日

【会場：豊田市生涯学習センター 足助交流館】

■14:00 開会、来賓挨拶、大会趣旨説明

【開会挨拶：地域住宅計画推進協議会会長・豊田市長 太田 稔彦】



ようこそ地域住宅計画全国シンポジウム2013豊田大会へ。全国よりお越しいただきました皆様を心より歓迎申し上げます。また、今大会が盛大に開会されるにあたり、各関係機関・団体のご尽力に対しまして、厚く御礼と感謝を申し上げます。

豊田市は、人口が約42万3千人の中核市で、市域が918.47km²と愛知県の約1／6の面積を占め、その7割が森林である一方、製造品出荷額が日本一という、産業や人口が集中する都市部と豊かな自然、歴史、文化が残る農山村部が共存するまちです。

また、平成21年には「環境モデル都市」として国から選定を受け、環境モデル都市アクションプランを策定し、豊田市の特徴と強みである「交通」「産業」「森林」の3つの分野に、市民のライフスタイルの変化につなげる「民生」と先進環境技術の集約の場・国内外への情報発信の場として、見える化を展開す

る「都心」を加えた5つを重点的な取組分野と位置づけ、これらの事業を関連づけながら、「ハイブリット・シティとよた」をキャッチフレーズに事業を推進しています。

今回の会場となる足助地区は、巴川の清流にあでやかな紅葉を映す香嵐渓があり、約4,000本のもみじが、見事な色彩に染まる最盛期には飯盛山全体が美しくライトアップされ、その紅葉と光の織り成す妙、素晴らしい眺めを堪能しようと大勢の人々でにぎわいます。また、昭和50年代から地域住民による、町並み保存運動の盛り上がりから、自主ルールによる保存が行われ、平成23年度には、重要伝統的建造物群保存地区の指定を受けました。江戸後期から昭和30年代までの建物の質の高さを維持しながら、時代の変化も受容して全体的にまとまりのある景観を整備しています。

今回の大会は、昭和58年に始まったHOPE計画30周年の節目にあたり、地域住宅計画推進協議会の解散に伴い、最後の地域住宅計画全国シンポジウムとなります。これまでに先人の皆様方が培ってきたご尽力に感謝するとともに、テーマにあります「地域住宅計画30年とその先に見えるもの」として、地域住宅の「その先」をこの大会に参加される皆様と大いに議論し飛躍することを祈念いたします。

最後に、本大会を含め、これまでの活動にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、参加いただきました皆様の住宅施策の取組がより一層発展するようご祈念申し上げます。

【来賓挨拶：国土交通省 住宅局 住宅総合整備課 環境整備室長：北 真夫】



【大会趣旨説明：内田 晃 北九州市立大学教授・企画運営委員長】



昭和58年に旧建設省の事業として始まったHOPE計画（地域住宅計画）も今年で30周年を迎えました。これもひとえに国、都道府県、市町村をはじめ、地域住宅に携わってこられたすべての関係者の継続的なご支援あつてのこととあらためて感謝を申し上げます。

今年は愛知県豊田市足助町を主会場として全国シンポジウムを開催することになりました。旧足助町は昭和59年にHOPE計画を策定し、以後長きにわたって、地域の人的資源（足助大工）による地場産の木材（足助材）を活用した町営住宅整備や街並み整備を行ってきました。長崎県島原市で開催された20周年記念大会では、このHOPE計画の神髄とも言える住宅づくりの成果が評価されて「HOPE大賞」を受賞しています。また言わずと知れた自動車産業の中心都市である豊田市は、国の「環境モデル都市」として認定され、クルマと住まいとの新たな関係構築を目指したスマートコミュニティづくりなど、低炭素社会の実現に向けた施策にも積極的に取り組んでいます。

この記念すべき30周年の節目に、地域住宅計画推進協議会は解散することとなりました。平成3年から毎年開催されてきたこの大会も今年が最後となることから、テーマを「地域住宅計画30年とその先に見えるもの」としました。各地域での住宅整備の成果やまちづくりに果たしてきた役割など、これまでの30年を振り返り、今後の地域住宅が抱える課題やビジョンについて議論します。協議会自体は解散いたしますが、これまで培ってきた地域住宅の思想や理念が消えるわけではありません。各地で取り組まれてきた実践的取り組みや研究成果の蓄積をいかに次世代に引き継いでいくか、皆さんで議論を深めましょう。また、多くの関係者が参集することで、これまで築いてきた地域住宅の人的ネットワークがこの豊田の地でさらに強く結束し、飛躍することを





第8回地域住宅計画賞 授賞作品一覧

■16:40 地域住宅計画賞授賞作品講評

渡邊 定夫 東京大学名誉教授・地域住宅計画賞審査委員長

■17:30 特別功労賞授賞式・意見交換会

【会場 一の谷】

意見交換会では、地域住宅計画（HOPE計画）の30周年を記念して、また協議会23年の活動の総括として発行した「地域住宅計画三十周年記念誌」を紹介するとともに、地域住宅計画の普及にご尽力いただいた方に「地域住宅計画功労賞」が、中でも格別にご貢献いただいた方々に「地域住宅計画特別功労賞」が授与されました。

地域住宅計画 特別功労賞授賞者一覧

- ・渡邊 定夫 地域住宅計画推進協議会顧問・東京大学名誉教授
- ・三井所 清典 地域住宅計画推進協議会顧問・芝浦工業大学名誉教授
- ・岩田 司 地域住宅計画推進協議会顧問・(独)建築研究所住宅・都市研究グループ上席研究員
- ・鈴木 洋 地域住宅計画推進協議会理事・山形県金山町長
- ・清水 耕一郎 地域住宅計画推進協議会理事・株式会社アルセッド建築研究所佐賀事務所長
- ・川崎 直宏 地域住宅計画推進協議会理事・株式会社市浦ハウジング＆プランニング専務理事



二日目 10月25日

【会場：豊田市生涯学習センター 足助交流館】

※台風27号が交通機関へ影響を及ぼす恐れがあることから当初のスケジュールを変更・短縮して大会二日目を開催

■ 9:30 足助地区の紹介

- ・重要伝統的建造物群保存地区の取り組みについて

豊田市教育委員会 教育行政部 文化財課 足助分室 多和田 篤嗣

足助伝統的建造物群保存地区については

<http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ka00/ka03/1225375/02pamp.pdf> 参照



■ 10:00 閉会

岩田 司 （独）建築研究所住宅・都市研究グループ上席研究員



■10:30 オプション・ツアー

閉会后、当初予定していた「足助地区まち歩き」と「とよたエコフルタウン見学」をオプション・ツアーとして開催。二組に分かれて豊田市の案内により実施した後、豊田市駅にて解散。

・とよたエコフルタウン見学



・足助地区まち歩き



◎問い合わせ 地域住宅計画推進協議会 事務局

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング

一般財団法人ベターリビング 住まいづくり連携協力部 Tel 03-5211-0584 Fax 03-5211-3169

第8回地域住宅計画賞審査結果

(2013 地域住宅計画賞受賞作品)

▼作品部門

	名 称	地域名
地域住宅計画賞	十津川村復興モデル住宅	奈良県十津川村
地域住宅計画賞	岩手県大槌町大ケ口地区における 災害公営住宅の整備	岩手県大槌町
地域住宅計画賞	「地域型復興住宅プロジェクト」み んなでつくるみやぎのいえシリーズ 「黒い家」「白の家」	宮城県岩沼市
奨励賞	栗山町の家達	北海道栗山町
奨励賞	スマートハウスの街『豊田東山』	愛知県豊田市
奨励賞	大地とつながる家	和歌山県串本町
奨励賞	リプチの森 間知(まち)づくりプロ ジェクト	新潟県長岡市
奨励賞	コミュニティヴィレッジ 越谷ゆいま ーる	埼玉県越谷市
奨励賞	コバケンラボ	埼玉県本庄市
奨励賞	金山町街なか公営住宅	山形県金山町

▼自立循環型住宅部門

	名 称	地域名
地域住宅計画賞	自然と暮らす小瀬の家	岐阜県関市
奨励賞	戸地谷の家	秋田県大仙市
奨励賞	遠州おおやねの家	静岡県浜松市
奨励賞	岡谷市内を一望できる高台の家	長野県岡谷市

▼活動部門

	名 称	地域名
奨励賞	少子高齢化・地域交流に配慮した 団地再生事業(アーバンラフレ鳴 子)	愛知県名古屋市
奨励賞	「子育てママの理想の家をつくろ う！」プロジェクト-パレットコート六 町 東京ココロシティ-	東京都足立区
奨励賞	仙台市原町本通りまちなみ博物館 構想-伝統的建築を活かして-	宮城県仙台市

■賞の概要

1. 主 催
- 地域住宅計画推進協議会
2. 共 催
- 豊かな住まい・まちづくり推進会議
3. 後 援
- 国土交通省、環境省、独立行政法人建築研究所、独立行政法人住宅金融支援機構、公益社団法人日本建築士会連合会、公益社団法人日本建築家協会、公益社団法人都市住宅学会、一般社団法人日本建築学会、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構、公益財団法人日本住宅・木材技術センター
4. 目 的

地域住宅計画推進協議会は、地域の環境や住文化などを大切にしながら、地域自らの創意と工夫による、他の模範となるようなすまいづくり・まちづくりを発掘し、その功績を讃えることにより、我が国において真に豊かな居住空間を実現することを目的に、地域住宅計画賞の表彰を行います。

5. 表彰の種類

「地域住宅計画賞」は、地域の創意と工夫によるすまいづくり・まちづくりを実践し、地域の住文化の発展等に貢献していると考えられる「作品」及び「活動」に授与します。

○「作品部門」

すまいづくり、又はまちづくりにおいて、地域の創意と工夫によるすまいづくり・まちづくりを実践し、地域の住文化への貢献等、その作品に込められた趣旨が十分に具体化されており、他の作品の模範となるもので、デザイン的にも秀逸であるものに授与します。

○「自立循環型住宅部門」

すまいづくり、又はまちづくりにおいて、地域の創意と工夫によるすまいづくり・まちづくりを実践し、地域の気候風土や住文化を活かして創意と工夫を持って「自立循環型住宅への設計ガイドライン」の要素技術を基に、多様な省エネルギー・省CO₂ 技術を活用した住宅・住宅地づくりを実践し、住み手の参加のもと、省エネルギー効果を顕現している模範と認められる作品に授与します。

○「活動部門」

地域のすまいづくり、又はまちづくりのための活動（地域の住宅政策上の課題に対応して独自に実施する政策、制度等も含む）で、地域の住文化の育成等に大きく貢献し、かつ、他の地域での活動の模範となるものに授与します。

6. 審査委員

審査は以下に示す審査委員会において、受賞作品を決定しました。

<審査委員会>

委員長	渡邊 定夫	東京大学名誉教授
特別委員	三井所 清典	芝浦工業大学名誉教授
委員	岩田 司	独立行政法人建築研究所 住宅・都市研究グループ上席研究員
委員	内田 晃	北九州市立大学 教授
委員	川崎 直宏	株式会社市浦ハウジング＆プランニング 専務取締役
委員	北 真夫	国土交通省 住宅局住環境整備室長
委員	澤地 孝男	独立行政法人建築研究所 環境研究グループ長
委員	清水 耕一郎	株式会社アルセッド建築研究所 佐賀事務所所長

7. 賞状

賞状 愛知県豊田市永太郎町
手漉き和紙（小原和紙）
和紙のふるさと運営協議会

額 山形県金山町
金山杉
きごころ工房
指物師 岸 欣一

記章 佐賀県有田町
有田焼
色鍋島 今右衛門窯
十四代 今泉今右衛門

書 福島県三春町
濱名 星姿

